

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

『新冠百話』は、平成29年8月に教育委員会が発刊した書籍です。

新冠にまつわる100のお話を通して、ふるさとの歴史や自然、文化をわかりやすいものとして残し、新しい世代に引き継ぐ願いから製作されたものです。編集を担当した郷土資料館が、昭和55年の開館以来地道に行ってきた取り組みの成果がこの『新冠百話』となります。

百話の内容は全4編の構成となっており、文章だけではなく、関連する図表や写真などもあり、くわしく記されています。

次号からは、100話のエピソードから1話ずつわかりやすい形で要約し、紹介していきます。



「新冠百話」

発行日 平成29年8月31日
発行者 新冠町教育委員会
価格 1000円
販売 新冠町郷土資料館

「新冠百話掲載内容」

第1編 「学芸員の郷土史話・コラム」

郷土資料館学芸員が執筆し、広報紙や新聞の連載、地元文芸誌で発表してきた郷土史話を収録しています。大昔の新冠や江戸時代における新冠会所時代、軍馬を育成していた御料牧場、日高管内最大の規模であった戦後開拓などの歴史を知ることができます。

第2編 「古老談の聞き取り調査記録」

郷土資料館では、先人の苦労や知られざるふるさと文化を風化させないため、新冠に住む古老から昔の新冠の様子を聞き取りする調査を継続してきました。

御料牧場前後の出来事のほか、アイヌ文化、戦後開拓のお話が多く収録され、その時の歴史を目の当たりにしてきた方々の生の証言を知ることができます。

第3編 「ふるさとの伝説」

新冠を舞台とした「伝説」の類を収録しています。

アイヌ民族に伝わる不思議な物語を主としています。判官館の源義経伝説についても記されています。

第4編 「ふるさとの知られざるエピソード」

学芸員が関わった地元郷土誌や、郷土文化研究会が記録したふるさとの興味深いエピソードを収録したものです。新冠最大の大水害やゆかりの人物、後世に伝えたい大切な場所などがわかります。

大切な日常のために私たちができること。

「消防団員募集」

あなたの想いで、守れる町がある。
あなたの想いで、救える命がある。
あなたの想いで、深まる絆がある。 消防署新冠支署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数
3月	0件 (2件)	19件 (17件)
30年1~3月	0件 (3件)	79件 (61件)

交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期

区分	発生件数	死者	傷者
3月	1件 (0件)	0人 (0人)	2人 (0人)
30年1~3月	2件 (0件)	0人 (0人)	3人 (0人)

人のうごき

(平成30年3月末現在)

人口 5,575人 (前月比 - 15人)
男 2,727人 (前月比 - 6人)
女 2,848人 (前月比 - 9人)
世帯 2,748世帯 (前月比 + 13世帯)